

人口 (男).....4,761 人
(女).....5,031 人
合計.....9,792 人
7月中の転入 22 人
転出 13 人
世帯数.....2,220 世帯
(7月末日住民登録人口調)

発行日・51・8・20(2,700)
発行・秋田県合川町役場
編集・企画課

住みよい

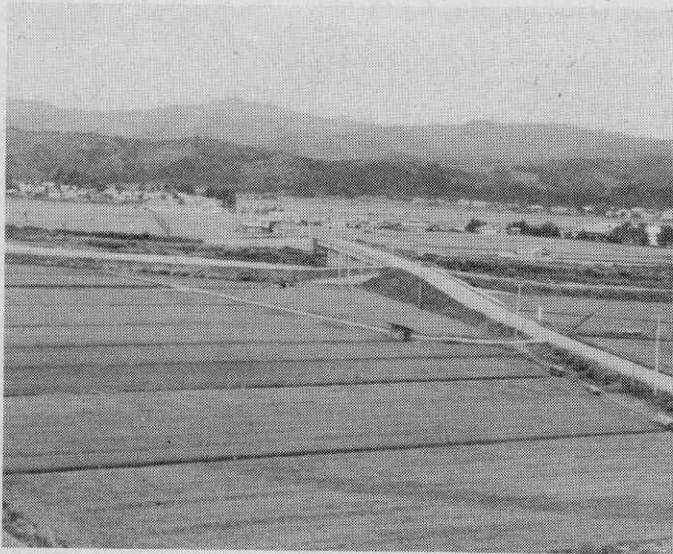
近代農村づくりをめざして

農村総合整備計画スタート

町では、農村総合整備モデル事業の導入をはかるべく、その計画策定、いわゆる、農村総合整備計画の作成市町村に選定されたことに伴い七月十五日、新しく農村整備課を設置し、調査をはじめとしていよいよ計画策定がスタートしました。

農村整備課を設置

この事業は国土庁が、全 作成町村に選定されました。国の農業振興地域をもつ市町村から特定の市町村を選 五十三年度より七年間に、び、モデル的に農村の総合 およそ、十五億円の事業費的な整備についての構想を この農村総合整備モデル事業を実施し、生産基盤関明らかにするための計画作 成については指導助成を行うもので、さらに農林省で行



“モデル農村”としての日も近い

っている。農村総合整備モデル事業のマスタープランともいえる主要な計画となるものです。昭和五十一年度では全国で四百三十市町村、うち県内では合川町を含む十六町村がこの計画

備、また生活環境関係では、生活排水の処理や農村公園の設置などが主なものとなっており、すでに、町内における「住民意向調査」を行い、そのとりまとめも終り、今後、部落座談会の実

第二十二回町民体育祭

炎天下の熱戦、川井が総合優勝

第二十二回町民体育祭は、七月二十五日合中陸上競技場で、約二千人の町民が参加して行なわれました。この日は記録的な「三十六度」を越す炎天下にもかかわらず各競技に熱戦が展開されました。戦績は、各種目に平均の力を発揮した、川井チームが食い下がる上杉チームを振り切り堂々の優勝、また呼び物の「綱引き」は三木

順位	チーム名	得点
優勝	川井	34
準優勝	上杉	30
3	木戸石	28
4	芹沢・根田	26
5	道城	25
5	三木田摩当	25



暑さにもめげず元気で楽しい一日を……

交通安全大会

死亡事故二千日達成を誓う

町民総参加で交通事故を防止しよう。と去る八月三日町の交通安全大会が合川農協会議室を会場に開かれ、川井町長を先頭に各関係団体の代表者約五百五十人が参加し盛大に行なわれました。二つをテーマに参加者が熱心に意見交換、川井町長、



町民総ぐるみで、交通事故の撲滅を祈願

町の人事異動

七月一日及十三日

町では新しく農村整備課の設置と町民課を廃して総務課に事務を移したことに伴い、これらを主とした職員異動を次のとおり発表しました。

- （異動）
 - 技師 畠山勝治（農林課）保健課長へ
 - 保健課長 福岡昭二（農村整備課長へ）
 - 主査 佐藤秀二（町民課）総務課へ
 - 主事 金シキ子（町民課）総務課へ
 - 主事補 高橋良子（町民課）総務課へ
 - 主事補 松橋隆（農林課）農村整備課へ
 - 看護婦 福岡チタ（保健課）合川診療所へ
 - 主事補 安部貞一（診療所）農村整備課へ
 - 臨時職員 三浦一夫（農林課）農村整備課へ
- （出向受任）
 - 主事補 萩野芳昭 福祉課へ（社会福祉協議会に派遣）

この後県交通安全対策課成田清七参事の「交通事故撲滅について」の講話があり、最後に町民総ぐるみで飲酒運転の徹底追放の大会宣言をして閉会しましたが、町民の交通事故防止に対する意欲がうかがわれた大会でありました。

この大会を契機にいままで築きあげてきた輝かしい記録をさらに一日でも長く続くことを願いたいものです。

七月初旬、山梨・長野を視察したとき、両県とも、民家も公共の場も緑と花を愛する県民性を感じさせた。箱根山に多いヤマカシなどを庭木として、家ごとに植えられていた。

町長日記から

北国には樹に咲く花は春に多く、真夏の樹の花はすくない。サルズベリぐらいであるが、これは本来北国の樹ではない。南の方へ行くにしたがつて、キョウチクトウなど、夏の花が咲いている。北国では夏の草花の花が咲き競い、春の樹の花から夏は花へとかわる。最近熱帯植物から、世界各国のいろいろの樹や花が導入されているが、やはり本来その地に適した樹と花が、最も似合うようである。人もその土地柄に影響されて育つものだ。

佐藤教育長が公民館長を兼務

合川町教育委員会は平川利隆公民館長の死去に伴う後任の公民館長に八月四日付をもって佐藤教育長を任命（兼務）しました。

みんなが目ざす健康づくり 第3回早朝マラソン大会

9月1日 5時30分集合

合川中学校

トレーニングで体力づくりを始めよう!!

国民健康保険

国保税を大幅に引上げ

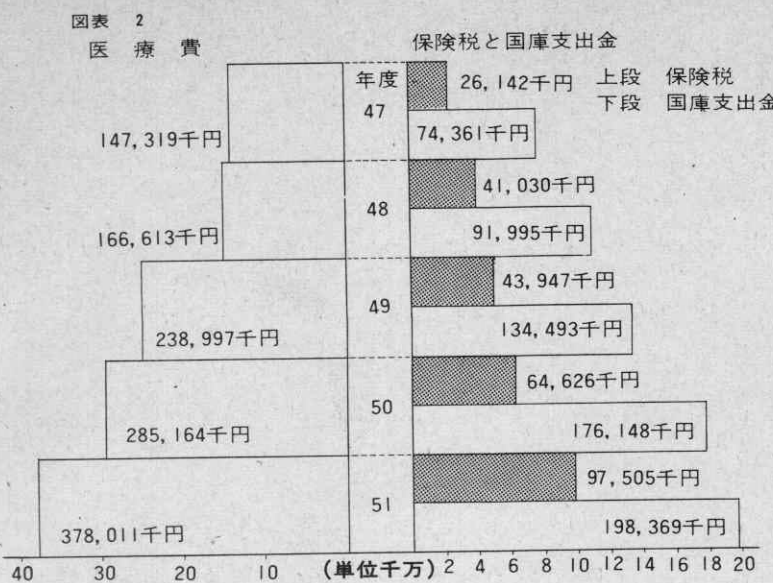
これまでも町民みなさんから、国保税が町民税、固定資産税に比較して高いと言いう事がありました。昨年に引き続き今年も一世帯当たり四万円から六万七千円に引上げることになりました。これは町としても誠にしのびないものであります。その原因として四月からの医療費の引上げ、老人医療費の無料化、高額療養給付費の増大があげられます。そこで今回は国保の医療費について紹介し、ご理解をいただきたいと思います。

国保税は

県内の52位！

町当局は、医療費の増大と現実をふまえながら町議会、国保運営協議会、関係機関などと慎重に協議を重ね、今年度の保険をきめました。この税額は、県内六十九市町中五十二番目です。(当初予算算)

保険税の基礎となる合川町の医療費は、図表二のとおりです。



平川利隆氏

李岱

お医者さんに支払われる国保の支出、つまり医療費は、年々増加の一途をたっているのです。医療費はもともとだまっ放つておいてもふえ続け

ふえ続ける医療費

す。この財源がどのようになっているのかといえます。と、被保険者のお医者さんの窓口で支払う分が三十パーセント、国の支出金が約四十五パーセント、残りの約三十五パーセントがみなさんの納める保険税と町の一般会計からの繰入金となっています。

るもので、これを「自然増」と呼んでいます。その割合は一〇〜一五％ぐらいと言われています。

この自然増が実は国保の財政を強く圧迫する要因となっているのです。

医療費 値上げの影響

昭和四十九年には、二月と十月の二度にわたり、また昭和五十一年四月にも医療費の値上げがありました。つまり診療報酬といって、お医者さんへの支払が技術を中心とした治療費や手術料、看護料、入院料、往診料など、すべてにわたって費用の基準が上げられたのです。

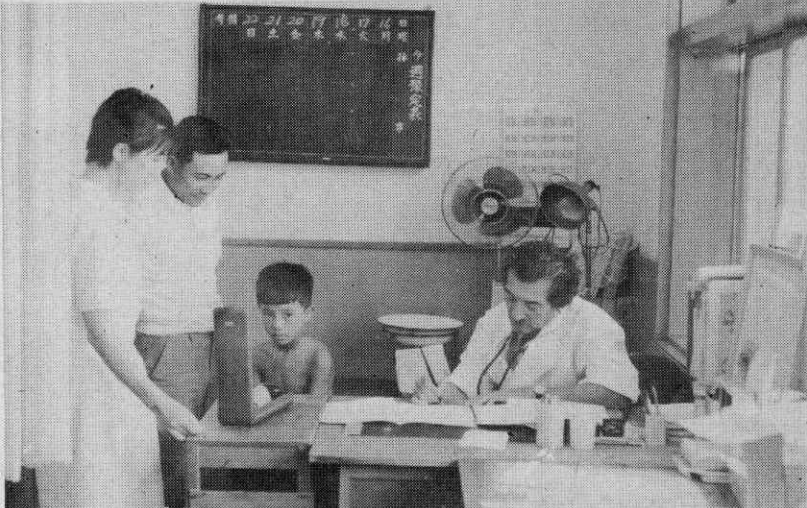


相互扶助

あった氏(享年六十三歳)は、去る七月十五日午後一時三十分、急性心臓マヒのため、同病院で永眠されました。

氏は昭和八年県立秋田師範学校を卒業後鷹巣小学校に就任、昭和四十七年三月田代中学校校長最後に退職を退職されました。

この間大館北秋学体連会長、同学校保健会理事長、県学体連副会長を歴任し、情熱ある教育の振興は勿論のこと、県内における体育



日常の暮らしにおける健康管理に心がけましょう。(診療所)

図表 1 昭和51年度市町村別(北鹿地区) 保険税及療養費1人当り額(当初予算)

保険者名	被保険者数	保険税	保険税1人当り額	療養費1人当り額
大館市	26,100	551,154	21,117	68,353
鹿角市	25,110	405,152	16,135	58,862
小坂町	2,416	42,816	17,722	77,447
鷹巣町	11,780	249,024	21,140	64,137
比内町	7,240	170,265	23,517	76,042
森吉町	5,504	97,800	17,769	53,563
阿仁町	3,200	81,782	25,557	74,375
田代町	3,900	76,519	19,620	57,872
上小阿仁村	2,000	41,787	20,893	84,367
合川町	5,300	88,200	16,642	65,350

結局は、わたしたちの負担増となる

も苦しい国保の財政にさらに追いつけをかけることになったのです。

国保の支払う医療費が年々増加し、さらに診療報酬

わたしたちが、いつなんどき、どんな大病をし、或は大けがをするかはまさに「神のみぞ知る」なのです。そんなとき、ばく大な費用がかかって生活が困きゆうする。あるいは、お金がないので治療を受けられないというのでは、個人の幸福も社会の豊かな発展もありえません。

「たいして病氣もしないし、お医者さんにかかることもほとんどない。一年間に納める保険税のほうによっぽど高い」と考える人があれば、それはすこしちがいます。

の値上げによってグンとふくれあがって財政が圧迫すればどうなるでしょうか？それは結局わたしたち被保険者の負担する保険税を引上げて国保財政が赤字続きにならないようにするしか手はないのです。

医療費がふえれば、それに応じて保険税を上げるというのが地方税法によるためとなつていきますので、

健康な国保を 育てよう

甘えた安易なお医者さんのかかり方をしている、国保は財政的に行きづまり状態になって不便なものとなつてしまふかも知れません。そうならないように、この便利な制度をいっそう発展させていかなければならない責任が、わたしたち被保険者にあるのだという意識をもっておきたいのです。そして、より健全な財政の国保にするために、ムダがないか、あるいは、日常の暮らしにおける健康管理などもう一度よく考えてみたいものです。

健康で楽しい毎日を

レントゲンの日程が下記のとおり決まりましたので受診されるようお知らせします。

実施月日	実施部落	実施時間	実施場所
9月13日	杉山田沢	午前 9:30~11:00 午後 11:10~12:00 午後 1:00~3:00	公民館 前前 児童館 前前 生活改善センター前
14日	三摩田	午前 9:30~12:00 午後 1:00~3:00	公民館 前前 児童館 前前
16日	三大里沢	午前 9:30~12:00 午後 12:30~1:30 午後 1:50~3:00	// //
17日	羽根立田	午前 9:30~10:30 午後 10:50~1:00 午後 1:20~3:00	公民館 前前 桜田喜吉宅 前前
20日	上下城栄	午前 9:30~11:00 午後 11:20~1:30 午後 2:00~3:00	小森林富男宅 前前 岡田千代宅 前前 児童館 前前
21日	上上杉	午前 9:30~11:30 午後 11:40~1:30 午後 2:00~3:00	坂上理一宅 前前 上藤童 一東館 前前
22日	下弥金	午前 9:30~12:00 午後 12:50~1:50 午後 2:00~3:00	集会所 前前 公民館 前前
24日	川井	午前 9:30~1:00 午後 1:30~3:00	// //
27日	羽根山	午前 9:30~1:00 午後 1:30~3:00	// //
28日	美戸	午前 9:30~10:30 午後 11:00~3:00	児童館 前前 公民館 前前
29日	福李	午前 9:30~10:30 午後 11:00~午後3:00	鈴木セツ子宅 前前 公民館 前前
30日	新田目	午前 9:30~11:30 午後 12:30~3:00	児童館 前前 児童場 前前

老後は年金がたよりです

の全県大会で三
角した個人及び
員を、体育振興
興に寄与した功
績が認められ
たものです。

中学、高校総体の全県大会で三つ個人及び団体、町及び県内の体育振興に寄与した功績が認められ、

税金

喜びの授与者
(スポーツ栄光者)

故平川氏に功勞賞

体、国体（中学、高校総体含む）などの全県大会で三位以上に入賞した個人及び興に寄与した功績が認めら



県民手帳の
予約募集中

出かせぎ労働者
技能講習会案内

- 1、講習種目
車両係建設機械運転
- 2、講習会場
鷹巣高等職業訓練校
- 3、講習期間
九月六日～十日までの五日間
- 4、講習人員
男子二十名
- 5、希望者は、八月三十一日まで役場出かせぎ相談所（福祉課）に申し込んでください。また、講習料金は無料で、講習修了者には修了証書が交付されます。

交通安全一口メモ

交通安全一口メモ

★夏はお祭りや、盆踊りなどで、酒を飲む機会が多くなります。

★酒飲み運転は、注意力がにぶり、視野が狭くなりま
す。またスピード感がマヒし危険を
恐れなくなるほか
反応動作がにぶり、大きな
事故に結びつきます。

★恐ろしい酒飲み運転をなくするため、酒を飲むときは、車を置いて出かける。
車を運転するときは絶対に飲まないことはもちろん、家庭や職場の人も、車を運転する人には酒を飲ませないようにしましょう。

一杯の酒が凶器に
なる車 酒ノその一杯 命がとる!! もう一度、このこ
とばをかみしめましょう。

戸締りは嚴重に

暑くなると開放的になり、することが大切です。

○金融機関、商店等でも専ら、窓の施錠は完全に。窓や出入口の施錠を忘れることが多くなります。

アメシロに注意を

剣道)、成田るみ子(李岱 緑の大敵アメリカシロ)
・大館南高、剣道)、佐藤 トリが町内にも発生し、被害を手でつづります。

ありがとう

善意のご寄付

次の方々から、故人の香典返しにかえて尊い淨財の寄付をいただきました。

町の社会福祉協議会の活動費に繰り入れ、有効に役立たせることにいたしました。

紙上を通じて厚くお礼申しあげます。

○新田恭平（新田目）
父・松井長之助さんの香典返しにかえて三万円

○佐藤佐五郎（駅前）
妻・トメさんの香典返しにかえて三万五千元

また村駒商会、村形市三郎さんから十万円的一般寄付がありました。

平妻（川井）、藤岡リサ、茂治母（李岱）、平川利隆・本人（李岱）、畑山孝太郎・本人（三木田）、小笠原タケ・貞夫母（増沢）、小林キヨ・市太郎妻（道城）、金田キエ・和彦祖母（摩当）佐藤トメ・新悦母（駅前）、安部サキ・倉之助母（増沢）、

慶弔だより

自六月一日
至七月三十一日

○おめでとうご健康をお祈りいたします。

伊勢美香・米長女（八幡
岱）、松岡 滉・誠三二男

長男（川井）、後藤光子・

子・勝三長女（西根田）、

松橋 大・俊昭二男（馭前
大・俊昭二男（馭前

佐藤義樹・富義長男（駅前）
成田教子・道胤二女（李岱）

高橋真澄・正司長女（下杉藤島加代子・米造三女（木

戸石）藤岡美穂・賢悦長女（羽根山）、成田千恵子・

清人二男（李岱）、金田雅

村 淳・松雄二男(木戸石

藤島真理子・民雄長女（木
石）、松井恵美・英一長

女（福田）
○謹んでごめいふくをお祈

り申しあげます。
小笠原ミユ・進一母（増

前)、安部ナミ・直治母

平妻（川井）、藤岡リサ・

・本人(李岱)、畑山孝太郎

ケ・貞夫母（増沢）、小林
キヨ・市太郎妻（道城）、

金田キエ・和彦祖母（摩当）
佐藤トメ・新悦母（駅前）

安音十、倉之助廿（北沢）

交通安全ゼロをめざして安全祈願

地域ぐるみに交通安全を

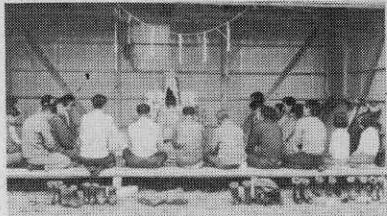
「このように開発されていることは知らなかった」よその町をまわっているよう「だ」という声、まさに灯台もとくらしというところでした。

地域活動学習会

増沢公民館

六月二日、田植の慰労をかね、増沢公民館では、地域めぐり(大野台施設見学)を中心とした地域活動学習会を行いました。

懇親は能代公園まで足を伸ばしましたが、その席上、



地域ぐるみに交通安全を

みんなの広場

地域活動だより

健やかな成長をねがって

鎌沢家庭教育学級

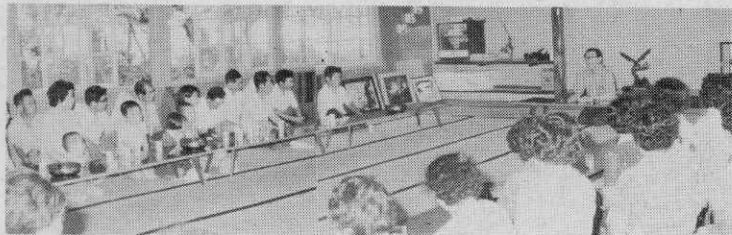
地域めぐり盛ん

灯台もとくらし

増沢婦人会

七月十八日(日)、増沢婦人会(支部長・杉淵節子)では、地域めぐり(Aコース)研修会を行いました。

午後からは、大野台ハイランドを会場に、軽話・歌・ゲームを折りまぜながらなごやかなふん囲いで親睦を深めました。



仲良く地域めぐり(弥栄、増沢婦人会)

地域活動の推進

移動公民館

連帯と協調のある地域活動を推進するため、桃栄(七月五日)弥栄(七月十八日)で移動公民館を開館しました。

阿部・松岡両主任主事の計らいで企画されましたが、今後の活動の手立てができたことを非常に喜んでいました。

集会時間を
守りましょう

楽しい一日、元気にプレー

上杉少年少女ソフトボール大会

上杉部落公民館運営委員会

会(委員長長坂上理一)と部落体育協会(会長和田勇治)では、夏休みに入った八月一日、東小中学校グラウンドにおいて少年少女ソフトボール大会を開きました。

試合は、上、中、下対抗で行いましたが、男子は、接戦の末一勝一敗の同率となり、全員でグレイヤモンドを疾走して、一番早かった下チームが優勝。女子は、選手層の厚い上チームが圧倒しました。終了後、体協の世話で、かあさんたちの心づくして豚汁をこちそうになり、楽しい一日を過ごしました。

おらが部落の公民館

その② 新田目

その昔、国鉄阿仁合線が李岱から新田目を通る話もあったとか。そのことが実現していたら……。

現在、駅前・本城間のバス路線として重要視され、又、合川まと火がともされるのもこの地であり地域住民の理解と協力は大きいものがあります。

世帯数七九、人口三三〇の新田目公民館運営委員会(委員長長坂上理一)と部落体育協会(会長和田勇治)では、夏休みに入った八月一日、東小中学校グラウンドにおいて少年少女ソフトボール大会を開きました。

試合は、上、中、下対抗で行いましたが、男子は、接戦の末一勝一敗の同率となり、全員でグレイヤモンドを疾走して、一番早かった下チームが優勝。女子は、選手層の厚い上チームが圧倒しました。終了後、体協の世話で、かあさんたちの心づくして豚汁をこちそうになり、楽しい一日を過ごしました。

たばこは町内で

公民館のうぶさ

一堂に集う

若い花

全町若妻研修交流会

七月十一日(日)、合川町公民館では、婦人会の協力をいただき、今年度第一回目の全町若妻研修交流会を大野台ハイランドハウスを会場に行いました。



合川町長の講話を聞く

「合川カルタ」を募集!!

「合川カルタ」を作るに当たって

新春早々、ある懇親会のときです。かなりの人数が集まった会でしたが、そこに出席されていた住民の方から、

「ふるさとを詩う『合川カルタ』を作ったらどうだろうか」という意見が出されました。

家族みんなでカルタを楽しみながら、わが合川町を知りふるさとを心情的に育もうというのです。

特に合川町に生まれ、合川町に育つ子どもたちに対しては、ほんとうにすばらしいプレゼントになることうけあいです。そこで、町民各位からの応募をいただき町民総意が生んだふるさとのカルタにしようということになりました。

とかく野性的な遊びが多い中で、カルタだけは知性的な遊びの一つとして、これまで子どもたちの中に長く親しまれてきたのです。

いつてみれば、カルタは、子供たちの「知」の世界に対する憧れの遊びであったともいえます。

ふるさとを心「合川カルタ」を完成するに当たって町民各位の心温かいご協力をお願いいたします。

◎募集の要領
「みんなの合川カルタ」をつくりましょう。合川町の自然や歴史など、町の特徴をとらえながら、ふるさとを心温かいふさわしいものであれば内容は自由です。

三、読み札だけの募集です。ことばは、できる限り短

く完結にしてください。

三、「いろは」はへとちりぬるをわかよたれそつねならむうのくやまけふこえてあさきゆめみしゑひもせす」の順です。全部をのぞみますがこの一部でも結構です。

四、応募の資格は、子供からお年寄りの方まで合川町民であれば、どなたでも結構です。

五、作品を若干手直しする場合もありますのでご了承ください。

六、採用分には、薄謝を贈ります。

七、絵札は、読み札が決まってから適当な方法で作ります。

八、応募する場合は、住所、氏名・年齢・職業を必ず添えてください。

大野台ハイランド

誕生の森コーナー二十年計画

大野台ハイランドのなかにある未整備のコーナーを、活用して今年から毎年同じ学令児となるお子さんのための緑化コーナーを設定し、ハイランドの森に魂を入れてゆきたいと思っています。

ことしは昭和五十年四月二日から昭和五十二年四月一日迄の間に誕生した子供さんのために一カ所を指定し専門家の計画による樹を植えたいと思います。

会費は一人二〇〇〇円とし不足分は町費で補います。日時はまだあためて通知します。参加者は八月三十一日迄合川町公民館に申し込んで下さい。(電話で

合川町長 畠山義郎

ひろいもの

七月二十五日の町民祭の会場でサンガラスのひろいものがありまし

た。



きょうもきれいな町づくり
ゴミの収集は
きめられた日に